

火守りトピックス

No.96

平成 28 年 9 月 14 日 (水) 掲載



平成 28 年度全国統一防火標語

「消しましょう その火その時 その場所で」



9月10日(土)、**消防フェア**を開催しました。今年は台風10号の影響により、予定していた内容を一部変更したにもかかわらず、250人の市民の方が来場し、消防士とふれ合いました。

体験

消火器、放水、煙、レスキュー、乗車、心肺蘇生の各種体験コーナーは大勢のこどもたちで賑わい、消防士と婦人消防協力隊が作った豚汁 and おにぎりも完食となりました。



アトラクション



遠野北小学校児童による迫力のある薬研太鼓が披露されました。

表彰



3.11 東日本大震災遠野市後方支援資料館感想文と第34回遠野市児童生徒防火作品コンクール(ポスターの部)の表彰式が行われました。



消防フェアの最後に消防職員10人VSこどもたち30人の綱引きが行われました。接戦となった綱引きは僅差でこどもたちが勝利しました。

[次ページへ](#)

「来年も多数のご来場をお待ちしています。」

9月5日(月)から11日(日)を **救急医療週間** と定め、遠野市医師会、遠野市、消防本部主催で事業を展開しました。

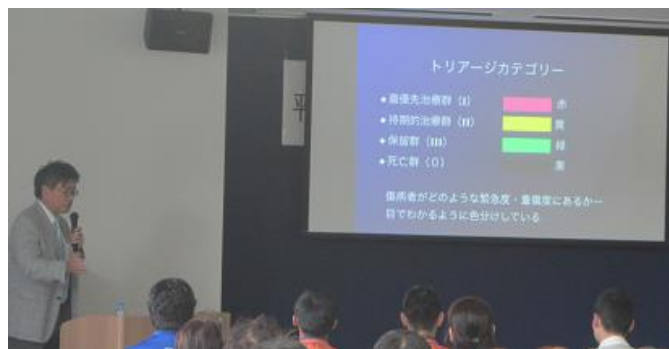
救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的としています。

救急講演会

9月10日(土) 遠野市総合防災センターで、「私が見た、聞いた、かかわった、災害医療・救急医療」と題して岩手県立遠野病院の郷右近祐司院長からご講演をいただきました。



阪神淡路大震災や岩手宮城内陸地震の医療現場における経験談や、東日本大震災、熊本地震、台風10号の医療機関の動き、今後の展望などが話され、聴講者は驚きと感心の声、また、先生のユーモアあるお話に笑いが起こりました。



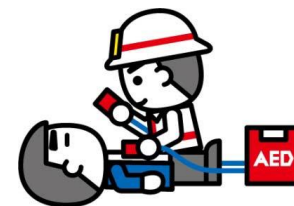
パパとママの乳幼児応急手当講習会

9月11日(日) 健康福祉の里で、遠野市保健医療課と消防本部が共催し乳幼児を育てるパパ、ママを対象に家庭内のできる事故予防や救命処置について助産師と救急救命士が講習を行いました。子供の命を守るため、パパとママは真剣な表情で受講し、救命スキルを学びました。



上級救命講習会

上級救命講習は今回5名の方が受講しました。「普通」救命講習が3時間の講習時間に対し、「上級」は8時間というボリュームですが、救命に対する高い意識を持った方々が「上級」資格を得ることにより、遠野市の救命率向上が期待されます。



作成:遠野市消防本部